

記入例

児童手当等に係る海外留学に関する申立書

山形市長あて

【申立人】（児童手当等の請求者）

住 所

〒 990-8540

山形市旅籠町二丁目3番25号

氏 名 山形 太郎

私は、児童手当法第3条に定める留学等により国外に居住している児童を監護し、かつ、生計を同じくしていることについて、当該事実を証明する書類を添えて、下記のとおり申し立てします。

記

1 留学している児童の状況等	(1)	氏 名 〔性別〕（生年月日）	山形 紅子 〔男・女〕（平成・令和19年〇月〇日）
	(2)	留学期間（予定）	令和3年〇月〇〇日～令和4年〇月〇〇日
	(3)	留学している 教育機関等の名称	〇〇〇〇校
	(4)	留学の目的	語学勉強のため
	(5)	居住地（国名・居住地）	アメリカ合衆国〇〇州〇〇〇〇
	(6)	児童と同居している者の 氏名（続柄）	・ 〇〇〇〇〇〇 （ホストファミリー） ・ 〇〇〇〇〇〇 （ホストファミリー）
	(7)	留学前の国内居住状況	・ 平成 令和25年〇月～平成 令和28年〇月 〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇〇町〇丁目〇番〇号 ・ 平成 令和28年〇月～平成 令和3年〇月 〒 990 - 〇〇〇〇 山形市〇〇町〇丁目〇番〇号 ・ 平成 令和 年 月～平成 令和 年 月 〒 -

（裏面に続く）

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 監護：児童の生活について、通常必要とされる監督、保護のこと。 </div>	・住所		氏名（続柄）	住所
			山形 太郎（父）	〒990-0000 山形市〇〇町〇丁目〇番〇号
父母等の状況 (2) (3)	監護の状況 (面会など)		定期的に電話で連絡を取っている。 長期休暇の際は、父母の元に帰省したりしている。	
	生計関係の状況 (生活費の送金状況等)		生活費や学費など留学に関する費用を全て負担しています。	
	3	(添付したものに✓) <input checked="" type="checkbox"/> 留学の事実がわかる書類（留学先の在学証明書等） <input checked="" type="checkbox"/> 留学前の国内居住状況がわかる書類 （戸籍の附票の写し、国内の学校における在籍証明書等） <input checked="" type="checkbox"/> 翻訳書（添付書類が外国語で記載されている場合）		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 留学直前までの6年間引き続き山形市に居住している場合は、添付不要になります。 </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 添付必須 </div>	添付書類			

- (記入上の注意)
- 1(2)「留学期間（予定）」欄は留学するために日本国内に住所を有しなくなった年月日から留学を終了し再び日本国内に住所を有するに至る日（予定日）を記入してください。
 - 1(6)「児童と同居している者の氏名」欄は留学先の住居において、児童と同居している全ての者について記入してください。
 - 1(7)「留学前の国内居住状況」欄は、留学する前日から遡って過去3年間を超える期間について、住民票上の住所を記入してください。ただし、留学する前日までに引き続き3年を超えて国内に住所を有していなかった場合にあっては、過去6年間の海外居住期間も含む居住状況（日本国内の居住状況については住民票上の住所）を記入してください。
 - 2(1)「父母等の氏名・住所」欄は児童の父母について記入する他、児童に未成年後見人がいる場合は当該未成年後見人についても記入してください。
 - 2(2)「監護の状況」欄及び(3)「生計関係の状況」欄は申立人（児童手当等の請求者）と児童の間の状況について、具体的に記入してください。
 - 3の添付書類「留学の事実がわかる書類」は児童の氏名、留学先の教育機関等の名称及び留学開始年月日が記載された証明書類（留学先の教育機関等から発行される在学証明書等）を添付してください。また、外国語で記載されている場合は、日本に居住する第三者（親族以外）の方の翻訳書を併せて添付してください。（当該翻訳書に翻訳者の署名、押印及び連絡先を記載してください）。
 - 3の添付書類「留学前の国内居住状況がわかる書類」については、児童が留学前の過去6年間に於いて山形市に引き続き住所を有していた場合は、添付する必要はありません。